30th Anniversary

連合奈良
30周年記念誌
2019

日本労働組合総連合会奈良県連合会

目次

連合奈良会長あいさつ…… 01

祝　辞…… 02～15

連合会長　神津 里季生

奈良県知事　荒井 正吾

衆議院議員　馬淵 澄夫

国民民主党奈良県連　代表　奈良県議会議員　藤野 良次

立憲民主党奈良県連合　代表　参議院議員　江崎 孝

連合奈良　初代会長　西井 幹晴

連合奈良　２代会長　松井 勇

連合奈良　３代会長　濱上 和康

連合奈良　４代会長　志賀 通孝

連合奈良　５代会長　森本 哲次

連合奈良　６代会長　小山 淳二

連合奈良　会長代理・各副会長

連合奈良のあゆみ（2010年～）…… 16～26

新たな情報発信について…… 27

歴代役員名簿…… 29

編集後記…… 32

ご挨拶

連合奈良 30 周年を迎えて

日本労働組合総連合会奈良県連合会
会長　西田 一美

連合奈良結成 30 周年の記念すべき節目を迎えました。1989 年 12 月労働戦線が統一され、県内 37 組織約 47000 人が結集し、日本労働組合総連合会奈良県連合会（連合奈良）が結成されました。

結成に尽力され歴史を紡いでこられた先人の皆様をはじめ、これまでご支援ご協力いただいたすべての皆様に心から感謝申し上げます。

さて、今、私たち人類は新型コロナウィルスのパンデミックの脅威と戦い『緊急事態宣言』『不要不急』『自粛』『ステイホーム』などの言葉が飛び交い、責任の所在も「正解」もわからない中で右往左往している状態です。突然、当たり前が当たり前でなくなり、「新しい日常」などという言葉が使われるなど生活様式、働き方など多くを変えざるを得なくなっています。コロナと向き合い最前線で働いてくださっている医療従事者をはじめエッシェンシャルワーカーの皆さまに心から感謝申し上げるとともに、一日も早く、恐怖から解き放たれる日が来ることを願ってやみません。

コロナ禍では、日本社会のあらゆる分野での脆弱性が明らかになりました。

自粛要請、休業要請が出される中、わずか一ヶ月分の収入に影響が出ると生活ができない「働き方・社会構造」の現状が浮き彫りになりました。労働政策研究・研修機構の調査によれば感染拡大に関連し、民間企業の労働者の 44・9%が雇用や収入に影響があったとされています。在宅勤務やテレワークなどが加速し、これまでの「働き方改革」の議論が空洞化してしまわないように、労働時間管理や健康管理などについても議論していく必要があります。

私自身は、2017 年に連合奈良「初の女性会長」に就任しました。同年連合宮崎で数日早く女性会長が誕生し、全国で 2 人となりました。連合奈良が役員に関するルールを変更し男女平等、意思決定機関への女性の参画を示したことは、私自身、男女平等を労働運動の中核として置き、またライフワークとしてきたので、とてもうれしい反面、労働界で女性が組織のトップに就任するのに 30 年かかるのかと複雑でもありました。後退させずステップアップして次代に引き継ぐことが私の使命だと思っています。

2009 年念願の民主党政権交代、わずか 3 年後の 2012 年の自民党への逆政権交代以降、自・公政権の弱者切り捨ての政治が続いています。野党再編が繰り返される中、連合支援政党も現時点で二党となったままです。「ひとり一人に寄り添う政治に変えたい」「支持政党による組織内の分裂を回避させたい」と昨年 7 月の第 25 回参議院議員選挙に野党統一候補として、私自身が戦いを挑みました。多くの皆さんのご支援により、約 22 万票の得票を得させてもらいましたが、自・公の壁を超えることはできなかったことは痛恨の極みと言わざるを得ません。

コロナ禍で政治の無策が露呈している今、私たち連合に課せられた責任は大きく、課題は労働法制、社会保障制度、格差拡大、産業政策、貧困対策、男女平等や組織強化と組織拡大など山積しています。いまこそ連合発足時の『その時々の情勢の変化に対応して「力と政策」ともって新しい道を切り開く』との理念を再確認したいと思います。

そして、新たな連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～」を基軸に、すべての生活者すべての労働者が命・人権・尊厳を守るため持続性・包摂を念頭に柔軟で機敏な連合奈良運動を展開するため、果敢に挑戦していく決意を申し上げ連合奈良結成 30 周年のご挨拶とさせていただきます。

祝　辞

集団的労使関係の確立・拡大で
希望ある未来づくりをともに

日本労働組合総連合会
会長　神津 里季生

連合奈良の結成30周年に際し、心よりお祝い申し上げます。

ナショナルセンター分立時代から、政策推進労組会議、全民労協、そして民間「連合」と官公労組との統一に至るまで、多くの困難と課題を乗り越え、1989年11月21日に連合は結成されました。統一大会で宣言された「力と政策」をもって新しい運動の道を切り拓いていくという決意と、諸先輩方が培い積み重ねてきた志と歴史の重みは、30年の時を経ても決して揺らぐことのないものです。そしてこれを私たちが引き継ぎ次世代へつないでいく、時を超えた連帯を深めていくことが重要です。

記念誌に書かれているとおり、2010年、連合は「働くことを軸とする安心社会」を掲げ、その実現に向けて連合・構成組織・地方連合会が一体となり、すべての働く仲間のための運動を各地で展開してきました。様々な成果をあげてきた一方で、格差の拡大や将来不安など、時代が変化する中で残された課題も少なくありません。今後はさらに、人口・産業構造の変化、情報技術革新など、働く者・生活者にどのような影響が及ぶのか予測の難しい変化の波が押し寄せてきます。このような状況下、連合がすべての働く者・生活者の先頭に立って、社会を覆う不安を払拭し、社会課題を一つひとつ克服するための運動を力強く牽引していくことが求められています。

連合は結成30周年を機に、私たちの運動が大切にしてきた価値観を継承･深化しつつ、「持続可能性」と「包摂」を基底に置く、連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会　－まもる・つなぐ・創り出す－」を打ち出しました。これまで以上に、年齢や性、国籍の違い、障がいの有無などにかかわらず多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない社会づくりを進めることが不可欠です。

これからの時代に相応しい「まもる・つなぐ・創り出す」運動を力強く牽引していくうえで、すべての取り組みの土台は、労働組合、集団的労使関係の確立と拡大です。働く仲間の約8割は労働組合に守られていません。加えて、働くかたちそのものが多様化しています。集団的労使関係の力を備えている私たち労働組合がしっかりと役割を果たし、その姿を示していくことが重要です。労働組合を社会の隅々まで広げ、希望ある未来づくりに、ともに力強く取り組んでいこうではありませんか。

連合奈良の仲間の皆さんの益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。ともにがんばりましょう。

以　上

祝　辞

連合奈良の設立 30 周年を心からお慶び申し上げます。

奈良県知事
荒井 正吾

連合奈良におかれましては、奈良県内で働く人々が結成する組織として、すべての人々が安心して働き暮らし続ける社会の実現に向けて、賃金の底上げや格差社会の是正、雇用労働政策の充実を図るため、労働運動の活性化に大きな役割を担ってこられました。その取組は、単に連合組合の枠に留まらず、パート・派遣・契約社員などの非正規雇用労働者に向けても積極的に取り組んでおられ各方面から高い評価を得ています。これもひとえに、歴代会長をはじめ役員並びに組織の皆様の永きにわたるご努力の賜物と、深く敬意を表します。

さて、令和 2 年になり、奈良県は、新型コロナウイルス感染症に伴う社会的経済活動の制約により大きな影響を受けました。しかし、皆様の辛抱強い自粛活動と、命と暮らしを守るために感染のリスクと闘いながら、医療や介護、福祉、公共交通などの最前線で働く皆様やそのご家族、地域の皆様の献身的なご努力により、本県での感染拡大はおさまってまいりました。ここに県を代表し、謹んで敬意と感謝を申し上げます。

この姿の見えないウイルスとの闘いで、新しい生活様式を踏まえた働き方を実践することになります。また働き方改革関連法の施行により、意欲・能力を存分に発揮できる職場環境を作ることが重要な課題にもなっています。この山積する課題を乗り越え、働きやすい職場環境を実現する原動力となるのは、常に働く人に寄り添い、雇用と権利を守るため、労働条件の向上や労働環境の整備に果敢に取り組まれてきた連合奈良の皆様であると期待しております。奈良県としても、職場での働き方を良くし、職場環境を働きやすくし、人材育成に努めることで奈良県経済は活性化すると信じて取り組みを進めております。これからも連合奈良の皆様としっかり連帯して取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、この記念すべき 30 周年の節目を契機として、連合奈良の皆様が県民の生活向上と奈良県政の発展に今後ともご尽力くださることをお願いするとともに、連合奈良の今後ますますのご発展を祈念申し上げて、お祝いの言葉といたします。

祝　辞

連合奈良結成 30 周年記念誌寄稿文

衆議院議員
馬淵 澄夫

連合奈良様が結成 30 周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。30 年の長きにわたり、労働者の地位向上や待遇改善に取り組まれてこられたご努力に、改めて敬意と感謝を表します。

私と連合奈良の皆さんとの出会いは 1999 年、21 年前に遡ります。私は、奈良 1 区で民主党公認候補となる準備の中、先輩議員に連れられてご挨拶に伺いました。当時の濱上会長から、「ところで、どこの出身や？」と尋ねられ、「奈良市の鶴舞団地です！」と答えると、笑いながら「いや、出身組織や」と言われ、戸惑ったことを覚えています。大学卒業後の三井建設でのサラリーマン時代を含めて、労働運動に一切関わったことのなかった私は、「構成産別」、「出身組織」などの言葉の意味もわからず、ただただ、笑顔で対応に終始した記憶があります。

その後、幹部の皆さんからも、右も左も分からない私に、労働界や奈良県政界のことなど、詳しく状況をご教授いただき、1 区総支部長としての活動を始めることができました。歴代会長のご指導の下、議員としての活動を広げ、政権交代も経験することができました。また、労働運動も、条件闘争や賃金、不当労働行為への対応、企業側のコスト削減のため縮小した福利厚生の補完など、実に多岐にわたることを知り、改めて働く皆さんの生活を支える大事な運動だと強く認識してまいりました。

また、現西田会長には、2019 年の参院選の際、大変厳しい戦いが予想された中、「見逃し三振はできない。」との果敢なご決意の下、ご出馬いただきました。奈良の地から、全国的な野党勢力の結集に大きな影響を与える運動が展開できたのも、ひとえに西田会長のおかげと存じます。

さらに、現場の皆さんとの交流は地域に根差した生活を知る大事な場面でもありました。こうして衆院 6 期の議席を預からせていただいているのも、連合の皆さんとの連携、お支えあってのものだと肝に銘じております。歴代会長や役員、構成員の皆さんとも、個人的な人間関係を築くことができ、私にとってなくてはならない、大切な社会組織のひとつでもあります。

今後も、労働者の皆さんの日々の生活を守ることこそが政治の使命であることを心に留め、皆さんの声を国政に届け、政策の実現にまい進していく所存であります。今後とも末永く、何卒よろしくお願い申し上げます。

祝　辞

連合奈良 結成 30 周年記念に寄せて

国民民主党奈良県総支部連合会 代表
奈良県議会議員　**藤野 良次**

このたび、日本労働組合総連合会 奈良県連合会が結成 30 周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

連合奈良におかれましては、1989 年の結成以来、「労働相談や労働組合支援」「雇用問題や社会保障など、働く人すべてに関わる問題についての政策要求・提言」「災害支援など、様々な社会問題に対するボランティア活動」等、幅広い活動を展開されてこられました。

また、「働くことを軸とする安心社会」の確立を目指し、同一労働同一賃金の実現など、「格差社会」の是正に向けた取り組みも積極的に進めてこられました。

これまで、常に働く者の視点に立ち、職場の雇用と権利を守りながら労働条件の改善と労働者福祉の向上にご尽力されてこられましたことに深く敬意を表するところです。

さて、現在、新型コロナウイルス感染拡大も、ようやく落ち着きを見せ始め、以前のような生活及び職場環境に戻りつつありますが、今回のコロナ禍の中で、連合奈良は、最前線で働く方々の声や意見を受けとめ、労働者の感染防止・安全確保、雇用維持等について示した要望書を、いち早く県に提出するなど、「働く者」「生活者」の健康と命、生活と雇用を守るという連合奈良の役割をしっかりと果たされました。

改めて、働く方々とその家族にとって、連合奈良は、頼もしい存在として映ったのではないかと思います。

私たち国民民主党奈良県連といたしましても「国民の命を守ること」を最優先とし、「生活支援と事業継続に取り組む」「雇用は必ず守る」という強い決意を持って、引き続きこの危機的状況に立ち向かってまいる所存です。

また、連合奈良の皆様との連帯をさらに深めながら、希望の持てる新しい社会づくりをともに進めてまいりたいと思っています。今後とも、引き続きのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後になりますが、連合奈良の今後益々のご発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせて頂きます。

祝　辞

With コロナで始まる新たな道
連合奈良結成 30 周年記念誌に寄せて

立憲民主党奈良県連合代表
参議院議員　**江崎 孝**

連合奈良結成 30 周年おめでとうございます。立憲民主党奈良県連合を代表して感謝とお祝いを申し上げます。1989 年 11 月、労働組合のナショナルセンター、日本労働組合総連合会が誕生しました。元号が昭和から平成に変わったのが同年の 1 月。平成元年に誕生した連合の歩みはまさに平成の時代と重なります。今年 30 周年を迎える連合奈良の活動もまさに激動の平成を抜きに語ることはできません。

我が国で初めて消費税が導入されたのが 1989 年 4 月。以来 2 回の増税を重ね。2019 年初めて二桁税率となりました。この 30 年はまさに消費増税の 30 年だったと言えます。一方、連合奈良誕生の時代はバブル崩壊と重なり、日本経済はその激震の影響から立ち直れずに未だ失われた 20 年の延長の中にいます。

経済の激震だけでなく、1993 年の北海道南西沖地震、1995 年の阪神淡路大震災、そして 2011 年の東日本大震災などの大地の激震や毎年のように襲う洪水、台風といった自然の激震にこの 30 年はさらされ続けてきました。

これらの激震は普通に働く人々、普通に生活する人々に過酷な生活を強いてきました。上がらない、いやむしろ下げ続けられた賃金や増える非正規労働、過酷な避難生活と普通の暮らしに戻れない被災後の生活等々数え上げればきりがありません。しかし、それらの問題に果敢に挑戦し、働く人の幸せを、一刻も早い復旧復興を願って活動を続けて来られた連合奈良に結集する仲間の皆さんの努力を私たちは、決して忘れることはありません。

今政治に目を転じれば、安倍一強といわれる酷いほど劣化した政治が 8 年目を迎えています。歯がゆい思いをされているのは皆さん方の方が強いことでしょう。私ども立憲民主党は我が国に、立憲主義、平和主義、民主主義を根付かせるべく立ち上げた政党であり、その歴史はまだ 3 年にも満たないものであり、立憲民主党奈良県連合は 2018 年末に誕生したばかりです。力足らずではありますが、連合奈良の皆さんの理想とする社会に向け、必ず政権交代を実現する強い決意でこれからも皆さんとともに歩を進める覚悟です。

結成 30 周年の翌年、新型コロナウイルスという新感染症のパンデミックが世界を、日本を襲いました。その戦いはまだ緒についたばかりです。コロナともに生活する日々が続き、晴れてこのウイルスに勝利した暁にはコロナ後の新しい生活が来ると思います。その after コロナの時代は、市場に席巻されつづけ、格差が拡大し続け、貧困が蔓延する before コロナの時代であってはならないと思います。まさに連合奈良が思い描いて来られた普通に働く人、普通に暮らす人が主人公である社会でなければなりません。

With コロナで始まる新しい道を連合奈良に結集する仲間の皆さんが、前を向き堂々と歩んで行かれますことを心から期待し、立憲民主党奈良県連合を代表しての感謝とお祝いのあいさつといたします。

祝　辞

連合 30 年史

日本労働組合総連合会奈良県連合会
初代会長　**西井 幹晴**

結成 30 周年を迎えた。感無量である。年号が令和に改元されたのも束の間、世界中を震撼させている新型コロナウイルスは、先の見通しも付けることができず今日に至っている。いまの国際社会は統治に空白をもたらし、責任履行の妨げになっていることは確かである。国内においても安倍内閣の支持率は低下の一途をたどり、政権の求心力には目を覆うばかりである。安倍政権の倫理的な腐敗と政策の無能さが顕わになってきた。臭いものには蓋をし、「悪い奴ほどよく眠る」と世間は言うが、まさしく「悪の枢軸」である。

一方、令和になって大いなる感動と感銘、そして共感できたことである。2019 年、ラグビーワールドカップが日本で開催され世界トップクラスのチームが集結。厳しい気象条件の下で激しい肉弾戦を見ることができ、念願のベスト 8 に進出し決勝戦に勝ち残れたことは何にも増して大きな喜びである。ラグビー精神の真髄は、人格を形成するスポーツとして継承されてきたものである。　ONE FOR ALL ALL FOR ONE　（1 人は万人のために、万人はひとりのために）である。これからの健闘を祈りたい。

政府の成長戦略などを議論する未来投資会議に新たなメンバーとして、連合の神津会長など数人と茂木外務大臣も加わり､7 月からポストコロナの成長戦略を論議する予定のようだ。連合 700 万人の組織を代表しての参加となるのだろう。「ポスト安倍」について囁かれているこの時期、往々にして官僚がお膳立てをし結論ありきを決め込み誘導していくのが常である。安倍政権に「未来はあるんか」変革の時期は目前に迫っている。

さて、顧みると 30 周年と言えば大きな節目である。当時は、民間の労働組合を先行させ、地方組織がそれぞれの実情と立場を尊重しながら、結成に向けて努力してきたものである。一度、原点回帰をするのも一考ではないかと思う。政治と経済の狭間で、どれほどの活動をしてきたのだろうか。また多くの国民と社会全体の支持や信頼をどれほど得てきただろうか。連合に対する存在感を国民はどのように評価してくれているのか。

連合は日本を代表する労働組合組織の集合体である。20 世紀以降に労働組合が大衆化・巨大化して労働組合役員が固定的な層に「労働官僚」「労働貴族」との意味合いを持ち、1960 年代以降から労使協調路線の下で継続されているのは事実である。バブル崩壊以降の日本では、派遣社員や契約社員など非正規雇用の労働者が急増している状況においても、大部分の労働者の待遇を切り下げるといった歴史が厳然とあったことが、結果的に「正社員側を労働貴族」と化してしまっていることを承知しておく必要がある。非正規労働者を正規労働者に切り替えていく術（すべ）を考えてはいかがですか。

新型コロナウイルスとの闘いは、まだまだ続くのであろう。一国経済の中での国家の役割は飛躍的に高まっていることを覚悟すべきである。国民の「いのち」と「くらし」を守るのは、国家としての大事業である。これからは、経済を最優先にすることを第一義とせず、格差を生まない施策に方向転換をすべきではないか。いつも経済と対比され、目先の経済が勝っている。コロナもそう、原発問題もそう、地球環境温暖化もそうである。日々の暮らしがあるとは言え、予知し得ない問題も振りかかってくるかもしれない。今回のコロナショックは感染症の拡大が契機となり、人の移動や対面接触の禁止・自粛を求められ甚大な影響が広がっている。感染症拡大の終束後をしっかり見据えて、雇用維持のための必要な政策と働き方改革のあり方等についてもコロナ禍への対応からテレワークの導入が急速化している。しかし、日本の未来をよくよく見据えるなら､一時の流り病のようにリモート化することは得策だろうか。漁師が海に「タコつぼ」を投込むようなものである。

昨年、ラグビーワールドカップで One team という流行語が選ばれたことは記憶に新しい。「一体感のある組織を目指そう」「みんなで結束して一つになろう」という意味である。連合も国民の一員である。地球上にいる限り、細菌の惑星でありウイルスの惑星でもある。人間社会の生き方､作り方にとってこの重大な危機をどう乗り切って行くか､もっと真剣に考えていかねばならないと思う。　　連合奈良の未来に栄光を !!

【今私たちに必要なのは、グローバルな地球と国の動きと私たち自身の身近な暮らしの双方で、人間にとって大切なことは何かということをじっくり考えることである。コロナ後にそれが決定的な効果を生むだろうと思う。

京大総長（人類学者）山極寿一】

祝　辞

祝う連合奈良結成 30 周年

日本労働組合総連合会奈良県連合会
２代会長　**松井 勇**

米国で新型コロナウイルスの感染が再び広がり、1 日あたりの新たな感染者数が過去最多レベルに達している。特に感染拡大が深刻なのは、営業・外出規制緩和など「経済再開」が比較的早かった南部や西部の州だ。経済規模が大きな州も多く米景気回復に暗雲が立ちこめている。米国内では「秋以降に感染『第 2 波』が広がることを懸念していたが、それが目の前で起きている。

労働組合などが早期再開に難色を示していた。第二波の感染拡大への懸念が強まるなか、その上にさらにウイルスによる死者が 10 万人を超えた。そればかりか白人警察官が、黒人男性をねじ伏せて首を締め窒息死させる事件まで起き、これをきっかけに、抗議デモが全土に広がり、黒人差別問題が 11 月の大統領選にどう影を落とすか。「トップに失望」怒る米国は今、重大な局面を迎えている。

こどもは、どこの国の子どもであろうと、だれしもが大志を抱いて育っていく。

白人警察官に首を圧迫されて死亡した黒人男性ジョージ・フロイドさん（46）も、小学生の頃に「最高裁の判事」になりたいと作文に書いていた。この逸話が、ぼくにクラーク博士を思い起こさせてくれた。

自由と平等の国アメリカに、大きな夢と希望を膨らませていたフロイド少年。だが、その夢は打ち砕かれ、亡くなって 1 カ月、6 月 25 日、ニューヨークの公園でフロイドさんに哀悼の意を捧げた。（合掌）。

80 有余年のわが人生を振り返ってみて、今もって心に甦ってくる言葉、「少年よ、大志をいだけ」

ぼくは敗戦の翌年、1946 年春、父の郷里、伊勢志摩の疎開先から大阪に戻り、一年遅れで大阪市立本庄中学に入学した。英語の授業は担任が田中先生だった。英語で「ボーイズ ビー アンビシャス」このフレーズを必死に暗記した。アメリカの教育家クラーク博士は北海道開拓使として招聘された 1876 年（明治 9）来日、新設の札幌農学校教頭に就任、そのキリスト教信仰に基づく訓育は、内村鑑三、新渡戸稲造らの学生に深い感化を及ぼした。

はじめて知った英語が、ボーイズ ビー アンビシャス。躍動感を覚えた、戦中派のぼくの心を捉え、忘れ難い言葉となった。

70 年前にフランスの作家、カミュが長編小説「ペスト」で、ペストに襲われたアルジエリアの一都市オランの恐怖状態と、極限状況の中で生まれたヒューマニズム、連帯感、犠牲的精神など、人間の真実の姿をみごとに描いている。

100 年前のインフルエンザの世界的大流行「スペイン風邪」は、日本国内で大小 3 波の流行（1918 ～ 21 年）を繰り返し、第 2 波は死亡率が第 1 波に比し 4 倍超にはね上がった。歌人の与謝野晶子（1878 ～ 1942）は、小学校で我が子 1 人が感染し、瞬く間に 10 人の子のうち 8 人までも感染して、「なぜ多くの人間の密集する場所の一時的休業を命じなかったのか」と糾したといわれる。今に生かされている教えである。

皆さま、命と暮らしを大切になさってください。

祝　辞

結成 30 周年によせて

日本労働組合総連合会 奈良県連合会
3 代会長 **濱上 和康**

労働者の悲願であった労働戦線の統一という大偉業に第一歩を踏み出して以来、早いもので 30 年の歳月が経過いたしました。

このことは「県労働界の歴史に燦然と輝くもの」と西井初代会長が挨拶されたことを思い出しています。

当時のマスコミは「労働界は新時代の扉をあける」、「物価や土地・住宅・福祉問題など国民的課題実現に大きな影響力を発揮することが期待される」、「政界に強い波及効果」等各界の大きな期待を一身に背負い「輝かしい日本の明日のため、伸びゆく郷土・奈良の為安心して暮らせる未来の為に県民・市民の皆さんとともに歩み続ける」という統一大会宣言を確認し、39 組織 5 万人でスタートしました。

私も多くの先輩・仲間とともに連合結成に関わり、そして第 3 代会長としてバブル崩壊後の 10 年にわたりその役割を与えられたことは、私の人生にとって生涯深い感銘を覚えています。

この間 20 世紀から 21 世紀へと時代は変遷する中で、労働組合活動にも新しい課題を突き付け、対応に迫ってきました。

それは、世界経済のグローバル化と市場経済の原理が浸透し、非常に不用意な規制緩和論が横行していく中で、職場では雇用重視・従業員重視の良き伝統をもった、労使関係が無視・軽視されてリストラが進み、厳しい雇用情勢が続く中、ローカルセンターとしての役割が問われた時代でもありました。

一方政治に目を向けると、このような困難な課題に正面から解決しようとする政治勢力の動きも希薄な状態が続く中、我々が支援する政党が与野党に別れるという時代もあり、連合構成組織も四部五裂になる苦しい時代を組織分裂することもなく乗り越えてきました。

そして苦難の末、民主党の誕生を迎えることができ、結成から 20 年総力を挙げた第 45 回総選挙において歴史的な圧勝で、政権交代を現実のものとしました。 しかしながら、国民の期待にこたえることもなくわずか 3 年半余りで、下野し「失敗に終わった政権」のイメージが定着してきました。

その後、更に取り返しのつかない民進党の分裂があり、多くの先人の汗と涙の結集によって完成した野党の統一を分裂させた政治家の責任は重大と言わざるをえません。勝ちたいだけがために、政権を取り戻すためだけに、離合集散を繰り返す政治家の腹の固め方の弱さは多くの勤労者、生活者の期待を裏切ったことではないかと問いたい。

とにかく現政権に対抗しうる政治勢力の結集には希望が見えないが、連合のリーダーシップで次の選挙ではわかりやすい投票先を整備してもらいたいものです。 そして今年に入り、世間を震憾された新型コロナウイルスの感染拡大があり、まだまだ終息が見えない中で、国民生活も世界経済も混沌の中にあります。ウィズコロナの時代、労働運動にも新しい課題が突き付けられましたが、連合が訴えてきた「労働を中心とした高度な福祉型社会」の再構築に向け未来永却に続く連合奈良の運動を切望し、ご健闘をお祈りいたします。

祝　辞

結成 30 周年によせて

日本労働組合総連合会奈良県連合会
４代会長　**志賀 通孝**

連合奈良結成30周年おめでとうございます。結成の準備段階から参画し、その後18年間に亘り会長代理・事務局長・会長と連合運動に関わらせて頂いた私にとって、ひとしお感慨深いものがあります。今後の連合運動への期待を申し上げお祝いの言葉と致します。

現在、新型コロナは一時的な収束をみせておりますが、今日まで大変なご苦労をされている働く仲間の皆様方に敬意を表し、また秋以降に第２波・第３波が来ない事を心より祈念致しております。

さて連合は「雇用と労働条件そして平和を守る為」更に「人間尊重の高度な福祉型社会」をめざし、結成されました。

しかし昨今の情勢は米中の政治的・経済的対立、新型コロナによる世界経済への悪影響等により、奈良県も含め今後多くの企業・事業所が存続の危機に直面すると想定されます。その結果国民の大多数を占める労働者の雇用・労働条件にも大きく影響し、文字通り国民生活が崩壊の危機にさらされているのではないでしょうか。

今こそ日本最大の組織＝連合が「全ての労働者の雇用・労働条件・生活を守る‼」という旗印を高く掲げ、国や地方行政に向けて様々な課題解決への提案を行って頂きたいと思います。

具体的には熾烈な国際競争にさらされながら、戦後の日本の発展を支えてきた自動車・電機・機械等また未来を切り拓く環境・エネルギー等の産業・企業への支援＝産業政策がまず重要です。

また新型コロナ等の影響による倒産・経営難で失業された労働者への生活保障・徹底した公的職業訓練による再就職への支援も大変重要であり、政府や地方行政への強力な働きかけが必要です。その事が多くの国民＝労働者とその家族の生活と幸せを支える道につながると考えます。

連合が団結し「働く人々とその家族の皆様の幸せを求め」30周年を機に更に力強く行動される事を期待し祝辞と致します。

祝　辞

連合奈良 30 周年によせて

日本労働組合総連合会奈良県連合会
５代会長　**森本 哲次**

昨年、連合奈良発足 30 周年迎えられましたが、日本社会の政治経済そして私達労働組合の役割も連合発足当時と比較して直近の 10 年を境とし、大きく変化をしたと感じています。

それは、2009 年に連合が支援した民主党が大勝して政権交代を果たしましたが、3 年後の衆議院選挙で自民党に惨敗、今も続いている自民・公明政権では、労使間での決め事である賃上げや働き方にまで政府の意向が強く働くようになりました。連合の影は薄くなり情けなく、国民の目からも労働組合の一番大切な組合員の生活基盤を支える政策活動さえ見え無くなっています。

連合結成時に掲げた目標は「全ての労働者の生活向上」方針として企業別組合から産業別組合運動への転換と非正規従業員の組合員化と組織拡大・社会保障の充実と労働条件の改善等でしたが、未だ十分な成果をあげられていません。今、新型コロナウイルスの感染拡大への対応は、労働組合にとって新しい役割を求められています。企業のグローバル化で従業員も多様化するので産別組合の強化をはかり非正規労働者の支援も含めた行動を起こして頂きたいです。

次に政治活動への係わり方です。発足以来、国政・地域において組織内議員・有効議員を多く誕生させる活動を行って来ました。政権交代も出来ましたが、その後 2017 年、野党が政策の不一致で分裂、連合も残念ながら支持政党を示されない選挙となってしまいました。発足時に積み残してきた政策、原発と安全保障問題は 30 周年を契機として、各産別が連合政策の一本化について本気で議論して政策統一を示す時期だと思います。難しい課題ですが支援する政党への求心力にもなり、国民に支持される野党が育ち政権交代が出来る緊張感のある政治が始まるものと思います。

連合の政治活動は、国政や地域に組織内・友好議員を誕生させ政策の実現と組織の一体感を養う大切な活動だと思います。労働組合の役員は任期があります。神社仏閣が遷宮を行って技術・文化を継承する様に、私達の活動も「全ての労働者の生活向上」の実現をめざして選挙のノウハウの継承も必要です。多くの選挙に係わり組織力を高めて行って欲しいものです。昨年の参議院選挙区選挙で西田会長が立候補を決断頂いた事は、連合奈良組織の団結に正に貢献して頂いたものと考えております。

最後になりますが、連合奈良がナショナルセンターの役割として、役員が生活者の代表として、日々より良い目標に向かって組織内・奈良県内で注目される活動を展開される事を希望してご挨拶とします。

祝　辞

連合奈良結成 30 周年記念誌への寄稿文

日本労働組合総連合会奈良県連合会
６代会長　**小山 淳二**

『理にかない、情にかない、法にかなう』連合奈良結成 30 周年おめでとうございます。

連合奈良は結成以来、政策面の充実と同時に、組合員はもとより広く県民から共感を得られ、社会的うねりをつくる運動面を強化し、大きな社会変化がもたらす様々な社会課題に取り組んで来ました。結成 30 周年の輝かしい歴史の大半を（西和地協・副会長・事務局長・会長として）皆さんと共に活動が出来た事は、私の大きな財産であり誇りです。

30 年を振り返りますと、最初の結成 10 年は、様々な政策の違いを持つ産別が大同団結し、「力と政策」をもって新しい運動の道を切り拓きました。働く者・生活者の立場に立った政策実現を軸に、濱上会長の国政挑戦など、連合奈良の存在意義を知らしめた 10 年でした。

組織が成熟してきた次の 10 年は、非正規労働者の増加と格差社会の拡大が問題化する中、労働組合の社会的責任として政治と向き合い、念願の政権交代を成し遂げました。連合奈良の認知度・発言力のアップが図られ、非正規労働センターや連合奈良ユニオンの結成、地協の編成・ライフサポートセンターや障害者雇用促進センターの開設など雇用問題を中心に新たな運動展開が図られました。

この 10 年は、東日本大震災・豪雨災害・熊本地震など自然災害が多発し、助け合い・つながりの政策が強化されました。また、政治的には民主党政権の崩壊による自民党安倍政権発足で、消費税アップ、集団的自衛権の解釈変更、安全保障関連法案成立、森友加計問題・文章改ざんなど強引な政治手法に対し毅然と対峙してきました。さらに、ブラック企業が一般用語化する中、女性の社会進出･待機児童問題や働き方改革･雇用構造改革の中、経営対策活動や政策制度要求に力点を置いた運動を展開しました。

連合奈良は、これら時々の大きな転換期を柔軟な発想と真面目な活動で、労働組合の役割と社会的責任を果たし、組合員と地域の方々から、『ご苦労様。ありがとう。頑張って！』と言ってもらえる存在になり、必要とされている喜びを実感できる組織になりました。

40 周年に向け、私たちが未来を変える～安心社会に向けて～との決意のもと、「労働組合が自分たちのために連帯するだけでなく、社会の不条理に立ち向かい、自分よりも弱い立場にある人々とともに闘うこと」の大切さをしっかりと受け止め、信頼され頼りにされる連合奈良として、その役割と責任を果たしてください。

祝　辞

日本労働組合総連合会奈良県連合会 会長代理　阪田 聖司

連合奈良 30 周年、結成・発展へと御尽力頂いた先輩諸氏に敬意を表し、共に喜び合いたいと思います。

この 30 年、雇用形態も多様化する中、連合が全ての労働者の代表という立場で先頭に立ち行動してきました。今、新型ウイルスとの共存を覚悟しなければならない状況において、現場を知る労働組合が助け合い、行政を動かしていかねばなりません。これからも労働者が団結し、共に頑張っていきましょう！

日本労働組合総連合会奈良県連合会 副会長　池本 昌弘

連合奈良結成 30 周年を迎えることとなりました。これまでの歴史の中で、労働運動を進めてきていただいた、多くの諸先輩方の礎に、心より感謝申し上げます。これからも私たちは、持続可能な運動を進めていくために、次世代に繋ぐ取り組みを強化し、「働くことを軸とする安心社会」の構築に向け、取り組みたいと考えています。よろしくお願いします。

日本労働組合総連合会奈良県連合会 副会長　藤井 明彦

連合奈良結成 30 年おめでとうございます。連合結成以前から、激しく全国を転勤してきた小職にすると、奈良を詳しく論ずることなど難しいが、先達の色んな方の努力で労働戦線の統一と政権奪取に取り組んだのはほとんどの地方連合がそうだと思います。

諸先輩の思いを無にすることないように我々も頑張らねば。

日本労働組合総連合会奈良県連合会 副会長　霜永 勝一

連合奈良は、労働者支援、政策提言、社会貢献を柱に働く者の立場から様々な取り組みを行われてきました。特に政策提言では、公契約条例や交通基本条例の制定が実現しました。制度政策の実現は、働く私たちの労働条件の改善につながってくるため、今後もあらゆる分野での制度政策要求実現に向け、ともに力を合わせてまいります。

祝　辞

日本労働組合総連合会奈良県連合会 副会長　大蔵 武臣

連合結成 30 周年を迎えるにあたり、新たに「私たちが未来を変える～安心社会に向けて」をスローガンに掲げ、新たな気持ちで令和 2 ～ 3 年度の運動方針を確認しスタートさせた。

これまで諸先輩方が築き上げてきた 30 年間の思いを胸に、働く仲間の声を大切に労働組合の役割と社会的責任を果たし、次世代にしっかりバトンを託して未来へ繋げて行きたいと思います。引き続きご理解ご協力をよろしくお願い致します。

日本労働組合総連合会奈良県連合会 副会長　本村 秀史

連合奈良結成 30 周年おめでとうございます。

結成から現在にいたるまで、ご尽力いただきました先輩の方々に心から敬意を表します。

現在、新型コロナウイルス感染拡大が、私たちの暮らしに深刻な影響を与え続けております。この状況を変えていくには、今一度、働く者が団結・結集をし、様々な問題に立ち向かっていかなければならないと思っておりますし、連合奈良がその先頭に立たなければならないと考えております。

働くことを軸とする安心社会の実現、更なる連合運動の発展にむけて、共に頑張りましょう。

日本労働組合総連合会奈良県連合会 副会長　近藤 伸一

連合奈良結成 30 周年、おめでとうございます。

この間、私たちは「学校の働き方改革」にとりくんできました。昨年末、改正された給特法には、連合の意見が大きく反映されています。

連合に結集することで、動かなかった政策が実現できることを実感しました。多くの方々の連帯に感謝いたします。

私たちは、“すべての人が安心して働き、くらす社会に実現”に向けて、今後とも連合運動に参画していきます。

日本労働組合総連合会奈良県連合会 副会長　岡田 有理

連合奈良は結成 30 周年を迎えました。この間、連合の男女平等参画推進計画は第 4 次を迎えていますが、まだまだ社会における女性の参画率は高いとは言えません。すべての人が安心して働き続けられる社会の実現にむけ、運動を構築していくことが大切です。「女性の参画が新しい扉を開く」この思いを強く持ち、今後も連合運動を進めてまいります。

祝　辞

日本労働組合総連合会奈良県連合会 副会長　**水野 仁**

連合奈良結成 30 周年おめでとうございます。

「ナホトカ号重油流出事故」（H9）のボランティア以降、連合運動に関わり、その後、東日本大震災、紀伊半島南部豪雨、熊本地震等、多くの復旧・復興支援の任を通じて連帯の力が大きな支援となる貴重な体験をしました。連合奈良結成からこれまで運動を支えられた全ての皆様に感謝と敬意を申し上げ、我々も「連合ビジョン」実現に向け邁進致します。

日本労働組合総連合会奈良県連合会 副会長　**生駒 たかし**

結成 30 周年おめでとうございます。

記念すべき日を迎えられましたのは、結成からこの間、幾多の困難に対し「団結」をもって乗り越えられてきた先輩皆様のご尽力のおかげであり、感謝申し上げます。

昨年末からのコロナ禍で、私たちの暮らしは大打撃を受けていますが、「組合員の命と暮らし」を守るため、連合奈良に結集する仲間と共に全力をあげる所存です。

連合奈良 30 周年

鹿ちゃん

連合奈良のあゆみ

2010年…… 17p
2011年…… 18p
2012年…… 19p
2013年…… 20p
2014年…… 21p
2015年…… 22p
2016年…… 23p
2017年…… 24p
2018年…… 25p
2019年…… 26p

2010年　すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう！

1月　7日　新春旗開き
1月 30日　2010連合奈良春季生活闘争討論集会
3月　5日　国際女性デー街頭行動
3月　5日　2010連合奈良春季生活闘争勝利大決起集会
3月 24日　第6回奈良県知事との政策懇談会
4月 29日　第81回メーデー奈良地方大会
5月 16日　連合奈良結成20周年政策フォーラム
5月 20日　改正育児・介護休業法学習会
6月　4日　連合奈良「公共サービス条例制定を求める奈良県集会」
6月　7日　連合奈良政策制度実現2010.6.7総決起集会
9月　1日　東向障害者アンテナショップ（現キズナ）カフェオープン
9月 24日　連合奈良青年・女性ボウリング大会
10月 16日　ディーセントワーク世界行動デー奈良キャラバン行動
11月 18日　第20回連合奈良地方委員会
11月 28日　2010連合奈良ピースフェスティバル
11月 30日　第7回奈良県知事との政策懇談会

2010春季生活闘争討論集会

春季生活闘争PR行動
「労働相談ホットライン」

中小労組意見交換会

女性リーダーセミナー
「働く女性のための料理教室」

第１回青年女性韓国労総交流

東向障害者アンテナショップ（現キズナ）
カフェオープン

第20回連合奈良地方委員会

2010ピースフェスティバル

2010年のニュース

国内

- 鳩山内閣退陣、菅内閣が発足
- 宮崎県で口蹄疫、牛豚など29万頭が処分
- 日本航空経営破綻、再建へ
- 普天間問題、「辺野古」移設で日米合意
- 殺人などの時効廃止・延長

海外

- チリ鉱山で作業員33人が奇跡の生還
- 欧州債務危機が拡大
- ハイチ大地震、25万人が死亡
- ウィキリークスが米外交公電を多数公開

2011年

復興・再生に全力を尽くし、「働くことを軸とする安心社会」につなげよう！

1月　6日　新春旗開き
2月　5日　2011連合奈良春季生活闘争討論集会
3月　4日　国際女性デー街頭行動
3月　4日　2011連合奈良春季生活闘争勝利大決起集会
3月 12日　連合奈良「非正規雇用を中心とした全国キャンペーン」キャラバン行動
3月 24日　東日本大震災支援物資搬送
4月 29日　第82回メーデー奈良地方大会・震災復興支援集会
5月　2日　5月2日～9月16日まで連合奈良・東日本大震災救援ボランティア派遣
8月　4日　第8回奈良県知事との政策懇談会
8月　6日　連合奈良政策フォーラム・推薦議員懇談会
9月　5日　台風12・15号災害対策本部設置
10月 22日　ディーセントワーク世界行動デー奈良キャラバン行動
11月 16日　連合奈良第12回定期大会
11月 27日　2011連合奈良ピースフェスティバル
12月 16日　雇用均等学習会

2011春季生活闘争決起集会

東日本大震災救援物資搬送

第82回メーデー奈良地方大会
東日本大震災義援金募金

東日本大震災・
災害ボランティア

東日本大震災・
災害ボランティア

公契約条例の制定を求める
奈良県集会

女性リーダーセミナー
国会視察

奈良県労使会議

連合奈良第12回定期大会

2011年のニュース

国内

- 東日本大震災、発生時日本周辺の観測史上最大の地震
- 菅内閣退陣、野田政権が発足
- 歴史的円高で一時1ドルが75円32銭に
- 野田首相、TPP交渉参加を表明

海外

- 北朝鮮の金正日総書記が死去
- 「アラブの春」で民主化運動広がり独裁体制崩壊
- ビンラディン容疑者を殺害
- タイに大洪水が発生

2012年

復興・再生に全力を尽くし、「働くことを軸とする安心社会」につなげよう！

1月　6日　新春旗開き
2月 11日　2012連合奈良春季生活闘争討論集会
3月　2日　国際女性デー街頭行動
3月　2日　2012連合奈良春季生活闘争勝利大決起集会
3月 22日　第9回奈良県知事との政策懇談会
4月　6日　4月6、7日、2011年台風12号被災地支援「復興再生に向けた視察研修」
4月 28日　第83回メーデー奈良地方大会
6月　2日　連合奈良政策フォーラム・推薦議員懇談会
6月 30日　公契約条例制定をめざす奈良県シンポジウム
11月 15日　第21回連合奈良地方委員会
11月 25日　2012ピースフェスティバル
11月 28日　第10回奈良県知事との政策懇談会

第83回メーデー奈良地方大会

台風12号十津川
災害支援研修

金属部門連絡会十津川村視察

第83回メーデー奈良地方大会

連合奈良組織拡大集会

第22回連合奈良チャリティコンペ

第21回連合奈良地方委員会

2012年のニュース

国内

- 第46回衆院選で自公が圧勝、政権交代
- 消費増税法が成立
- 山中教授がノーベル医学生理学賞受賞
- ロンドンオリンピックで日本選手が史上最多メダル
- 東電女性社員殺害で再審無罪

海外

- 中国トップに習近平氏が就任
- 米大統領にオバマ氏再選
- 金正恩氏、第１書記に
- シリア内戦激化、山本美香さん殺害

2013年

ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者の連帯で「安心社会」を切り拓こう！

1月　7日　新春旗開き
2月 23日　2013連合奈良春季生活闘争討論集会
3月　1日　国際女性デー街頭行動
3月　1日　2013連合奈良春季生活闘争勝利大決起集会
3月　2日　「非正規雇用を中心とした全国キャンペーン」
4月 16日　第11回奈良県知事との政策懇談会
4月 27日　第84回メーデー奈良地方大会
5月 18日　連合奈良政策フォーラム・推薦議員懇談会
9月 14日　奈良県公共交通条例制定記念フォーラム
10月　7日　ディーセントワーク世界行動デー街宣活動
10月25日～27日　連合奈良政策委員会「被災地・復興視察」
11月　8日　連合奈良第13回定期大会
11月 24日　2013ピースフェスティバル
12月 24日　第12回奈良県知事との政策懇談会

2013連合奈良政策フォーラム

「非正規雇用を中心とした
全国キャンペーン」キャラバン行動

青年委員会エコキャップ運動

地方財政確立に向けた奈良県集会

第84回メーデー奈良地方大会

2013連合奈良政治研修会

奈良県公共交通条例制定記念フォーラム

連合奈良第13回定期大会

2013年のニュース

国内

- 特定秘密保護法が成立
- 2020年夏季五輪・パラリンピックの東京開催が決定
- 「徳洲会5000万円」で猪瀬都知事辞職
- 消費増税の14年4月実施決定
- 日本、TPP交渉に参加

海外

- スノーデン容疑者、米情報収集活動を暴露
- アルジェリアで人質事件、日本人10人が犠牲に
- フィリピン台風で死者・行方不明7千人
- イラン核協議、制裁一部緩和で合意

2014年

ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者の連帯で「安心社会」を切り拓こう！

1月　7日　新春旗開き
2月 23日　2014連合奈良春季生活闘争討論集会
2月 28日　国際女性デー街頭行動
2月 28日　2014連合奈良春季生活闘争勝利大決起集会
4月 26日　第85回メーデー奈良地方大会
5月 16日　第13回奈良県知事との政策懇談会
5月 17日　連合奈良政策フォーラム・推薦議員懇談会
5月 27日　STOP THE 格差社会！
　　暮らしの底上げ実現5･27中央総行動奈良県集会
9月 25日　労働者保護ルール改悪阻止街頭宣伝行動
10月　4日　奈良県公契約条例制定記念フォーラム
11月　7日　第22回連合奈良地方委員会
11月 30日　2014ピースフェスティバル
12月 22日　第14回奈良県知事との政策懇談会

韓国労総忠南地域本部大会訪問

ストップザ格差社会奈良県集会

クリーンアップならキャンペーン

奈良県公契約条例制定記念フォーラム

日本ユニセフ協会に外国コイン募金

労働者保護ルール改悪阻止！
全国縦断アピールリレー

労働者保護ルール改悪阻止！
全国統一集会奈良県集会

2014年のニュース

国内

- 憲法解釈の変更で集団的自衛権容認
- 消費税率10%の引き上げが延期に
- 御嶽山が噴火、57人死亡6人不明
- 8月豪雨で広島に土砂災害
- 日本人3人にノーベル物理学賞
- STAP細胞で論文に捏造や改ざん

海外

- 「イスラム国」が勢力拡大、有志連合空爆
- エボラ出血熱感染拡大、死者6000人
- ノーベル平和賞にマララさん

2015年

ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者を連合の輪へ
「安心社会」を切り拓こう！

1月　6日　新春旗開き
1月 24日　連合古賀会長とニューリーダーの直接対話（KNT47）
1月 31日　2015連合奈良春季生活闘争討論集会
3月　6日　国際女性デー街頭行動
3月　6日　2015連合奈良春季生活闘争・第18回統一地方選挙勝利総決起集会
4月 29日　第86回メーデー奈良地方大会
5月 16日　連合奈良政策フォーラム・推薦議員懇談会
5月 20日　労働者保護ルール改悪阻止街頭宣伝行動
5月 27日　労働者保護ルール改悪阻止全国統一集会
7月 11日　未来塾（連合奈良ニューリーダ講座「未来への絆」）開講
9月　8日　第15回奈良県知事との政策懇談会
11月　6日　連合奈良第14回定期大会
11月 17日　JILAF招聘チームと連合奈良三役懇談会
11月 29日　2015ピースフェスティバル
12月 25日　クラシノソコアゲ応援団！2016RENGOキャンペーンスタート街宣

連合古賀会長と
連合奈良ニューリーダーとの対話

未来への絆「未来塾」開講

戦後70年
2015原爆展

交通運輸部門連絡会
「公共交通をまもる啓発活動」

連合奈良男女平等参画
トップリーダーセミナー

JILAF・連合奈良懇談会

2015年のニュース

国内

- 安全保障関連法が成立
- ISが日本人を拘束、殺害
- TPP交渉が大筋合意
- 辺野古移設、国が着工
- 日本人科学者２人がノーベル賞
- ラグビーW杯で歴史的勝利

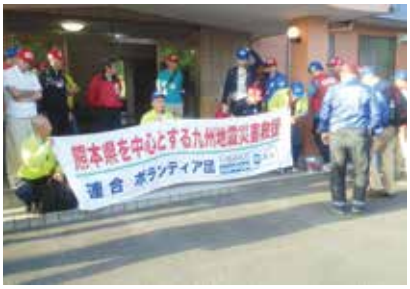
海外

- ギリシャ金融危機
- イラン核協議最終合意
- アメリカ、キューバが国交を回復

2016年

ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者を連合の輪へ「安心社会」を切り拓こう！

1月　6日　新春旗開き
1月 30日　2016連合奈良春季生活闘争討論集会
2月 16日　第16回奈良県知事との政策懇談会
3月　4日　国際女性デー街頭行動
3月　4日　2016連合奈良春季生活闘争・第24回参議院選挙勝利総決起集会
3月　5日　クラシノソコアゲ応援団！
　　2016RENGOキャンペーン街頭宣伝
4月 29日　第87回メーデー奈良地方大会
5月　4日　熊本地震災害救援ボランティア第1陣派遣
5月 21日　連合奈良地域フォーラム・推薦議員懇談会
6月　6日　クラシノソコアゲ応援団！
　　2016RENGOキャンペーン街頭アンケート
9月　6日　第17回奈良県知事との政策懇談会
11月 11日　第23回連合奈良地方委員会
11月 20日　連合近畿地方ブロック連絡会総会



熊本地震ボランティア派遣

熊本地震救援カンパ

2016連合奈良地域フォーラム

男女平等月間「クラシノソコアゲ応援団」街頭アンケート

クラシノソコアゲキャンペーン「私たちは怒っています!!」女性だけの行動デー

長崎平和学習・平和の泉清掃ボランティア

政策委員会 黒部発電所視察

政策委員会 黒部発電所視察

奈良県社労士会との懇談

2016年のニュース

国内

- 熊本地震で死者150人超
- オバマ米大統領が歴史的な広島訪問
- 相模原の障害者施設で19人殺害
- 日銀がマイナス金利を初導入
- リオ五輪、日本選手が過去最多41メダル

海外

- 米大統領選でトランプ氏が勝利
- 英国がEU離脱を決定
- 地球温暖化対策のパリ協定発効
- パナマ文書で税回避が発覚

2017年　次の飛躍へ　確かな一歩を

1月　6日　新春旗開き
1月 28日　2017連合奈良春季生活闘争討論集会
2月　1日　第18回奈良県知事との政策懇談会
2月 20日　2017連合奈良春季生活闘争総決起集会
2月 25日　国際女性デー街頭行動
4月 15日　女性の未来塾開講
4月 29日　第88回メーデー奈良地方大会
5月 27日　連合奈良地域フォーラム・推薦議員懇談会
9月　4日　第19回奈良県知事との政策懇談会
11月 10日　連合奈良第15回定期大会
12月　3日　2017ピースフェスティバル

春季生活闘争討論集会

FM奈良出演

国際女性デー街頭宣伝

連合奈良第１回女性の未来塾

政策委員会ミャンマー視察

政策委員会ミャンマー視察

2017連合奈良地域フォーラム

連合奈良第15回定期大会
奈良県初の女性会長誕生

2017年のニュース

国内

- 衆院選で自民大勝、民進が分裂
- 森友・加計・日報問題で、政権が揺らぐ
- 「共謀罪」法が成立
- 九州北部豪雨で死者・不明41人
- 過労自殺で電通に有罪、働き方改革へ機運

海外

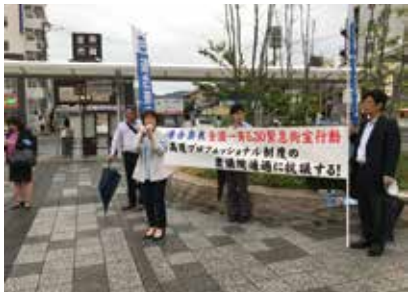
- IS「イスラム国」の「首都」が陥落
- 韓国大統領罷免、文在寅政権発足
- 金正男氏がマレーシア空港で暗殺される
- 国連で核禁止条約採択

2018年　次の飛躍へ　確かな一歩を

1月　9日　新春旗開き
1月 27日　2018連合奈良春季生活闘争討論集会
2月 27日　第20回奈良県知事との政策懇談会
3月　2日　国際女性デー街頭行動
3月　2日　2018連合奈良春季生活闘争総決起集会
3月 16日　連合奈良の森返還式
4月 28日　第89回メーデー奈良地方大会
5月 10日　緊急街宣行動（働く者の立場に立った「働き方改革関連法案実現」「ハラスメントなき社会の実現」）
5月 26日　連合奈良地域フォーラム・推薦議員懇談会
5月 30日　緊急街宣行動（「高度プロフェッショナル制度の衆議院通過」抗議）
6月 20日　連合奈良・県内工業団地協議会合同労働セミナー
6月 29日　緊急街宣行動（「高度プロフェッショナル制度」成立を受け、廃案等を求める街頭宣伝）
8月　3日　西日本豪雨災害救援カンパ活動
10月 17日　第21回奈良県知事との政策懇談会
11月 16日　第24回連合奈良地方委員会
12月　2日　2018ピースフェスティバル

連合奈良の森返還式

5.10　緊急街宣


5.30　緊急街宣

県内工業団地「労働セミナー」

ストップハラスメント
（第7回執行委員会）

金属部門連絡会県内企業視察

連合本部・総対話行動

奈良県市長会との懇談会

2018年のニュース

国内

- オウム事件の松本元死刑囚ら刑執行
- 日産ゴーン会長を逮捕
- 財務省が森友文書改ざんで20人を処分
- 西日本豪雨で甚大な被害相次ぐ
- 北海道胆振東部地震が発生
- 働き方改革、外国人就労で関連法

海外

- 米朝が史上初の首脳会談
- 朝鮮半島非核化、南北首脳が合意
- 米がイラン核合意離脱、制裁再発動
- 米国抜きTPP11が発効

2019年　私たちが未来を変える　～安心社会に向けて～

1月　8日　新春旗開き
1月 21日　第22回奈良県知事との政策懇談会
2月　2日　2019連合奈良春季生活闘争討論集会
3月　7日　国際女性デー街頭行脚
3月　7日　連合奈良第16回臨時大会
3月　7日　2019連合奈良春季生活闘争
　　第19回統一地方選挙・第25回参議院選挙勝利総決起集会
4月 27日　第90回メーデー奈良地方大会
5月 25日　連合奈良結成30周年記念・連合奈良地域フォーラム
7月 21日　第25回
　　参議院議員通常選挙
11月　8日　連合奈良
　　第17回定期大会
12月　1日　2019
　　ピースフェスティバル

Action36「サブロクの日」街頭宣伝

2019春季生活闘争総決起集会
第19回統一地方自治体選挙候補者

Action36共同宣言締結

連合奈良結成30周年記念
地域フォーラム

ITUC気候変動に関する
世界一斉アクション

第25回参議院議員通常選挙

青年委員会
核兵器廃絶1000万署名行動

奈良県立大学2019年連合奈良寄付講座

連合奈良結成30周年記念レセプション

2019年のニュース

国内

- 令和へ代替わり
- 消費税が10%に、軽減税率導入
- 京アニ放火殺人36人死亡
- 首里城火災、正殿など焼失
- ローマ教皇が38年ぶりに来日

海外

- アメリカ大統領が初の北朝鮮入り
- ノートルダム大聖堂炎上
- イチローが引退、国民栄誉賞は辞退
- アメリカの離脱で米ロのINF全廃条約が失効
- IS「イスラム国」の最高指導者が死亡

新たな情報発信について

連合奈良は、これまで広報活動として、連合組織内のみならず、すべての働く方々に向けて街頭宣伝や広報ビラの新聞折り込み、テレビCMなど様々な方法で情報発信を行ってきました。しかし、スマートフォンの普及進展に伴い、誰もが自らの欲しい情報をいつでも収集できる社会環境となっており、連合奈良の広報活動のあり方について見直す必要がありました。そのような環境の中、2020年に発生した新型コロナウイルス感染症により、街頭宣伝活動や集会、会議などを自粛せざるを得ない状況となりました。

このような状況を踏まえ、連合奈良は新たな広報活動としてYouTubeを活用した情報発信を始めることとしました。また、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）などの普及も進む中、今後の情報発信ツールとしてFacebook、LINE、Instagramなどを活用し、発信していきます。

連合奈良 YouTube チャンネルの取り組み

連合奈良の会長がユーチューバーになる？！

連合奈良は、すべての働く方々の身近な情報発信ツールとしてYouTubeによる情報発信を始めました。このコロナ禍においては感染拡大防止の観点から、多くの取り組みにおいてYouTubeを活用した情報発信を実施しました。

第91回メーデー奈良地方大会 WEB開催

第91回メーデー奈良地方大会は、コロナ禍において、集合形式での開催を中止し、WEB開催としました。メーデー100年を迎えるにあたり、これまでのメーデーの歴史を振り返る内容を含め実行委員長メッセージ、来賓挨拶などの内容を発信しました。別動画では、実行委員メッセージも紹介し、すべての働く仲間の結集を呼び掛けました。

YouTube QRコード

連合奈良 2020平和行動

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、連合平和４行動が開催中止となったことから、平和メッセージを連合奈良YouTubeチャンネルにて発信しました。広島の平和行動においては、献水を連合奈良より送り、現地の連合・原爆死没者慰霊式で供えられ、式典終了後、慰霊碑を囲む「平和の池」に注がれました。

▲連合・原爆死没者慰霊式の様子（広島）

連合奈良　組織内・推薦議員との会長対談

連合奈良は、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、連合組織内議員及び推薦議員と協力し、政策実現に向けて取り組みを進めています。組合員の皆さんに連合組織内議員及び推薦議員を身近に知っていただくため、連合会長との対談形式で発信しました。政治家を目指したきっかけや今後の取り組みなどをテーマにしています。

SNSを活用した情報発信にも取り組んでいます！

RENGONARA

歴代役員名簿

■ 2010 年第 11 期

役職名	氏　名	出身産別
会　長	森本　哲次	電力総連
会長代理	竹平　均	教育連合
副会長	北井　悟司	自治労
	阪田　聖司	電機連合
	佃　寿己	私鉄総連
	梶田　秀治	UIゼンセン同盟
	脇田　登	JP労組
	中西　勝	自動車総連
	松岡　隆	電力総連
	倉　正則	情報労連
事務局長	小山　淳二	電機連合
副事務局長	古川　友則	自治労
	桐木　正明	自治労
	小谷　久己	電機連合
	舛田　勝	私鉄総連
	小嶋　伸二	UIゼンセン同盟
	宮本　精二	JP労組
	倉田　嘉人	教育連合
	山本　伸行	電力総連
	杉本　敏範	情報労連
執行委員	池本　昌弘	自治労
	山本　佳保	自治労
	葛本　佳司	電機連合
	徳矢　光行	電機連合
	石原　和彦	私鉄総連
	小林　康雄	UIゼンセン同盟
	谷岡　幸夫	JP労組
	森山　欣哉	教育連合
	宇都宮　尚	自動車総連
	高木　祥介	電力総連
	今西多香一	情報労連
	仲野　昌則	JAM
	木下　幸一	JR連合
	南本　洋二	フード連合
	内藤　利彦	運輸労連
	舟川　康人	国税労組
	榊本　尋一	JEC連合
	工藤　幸義	国公総連
	北村　嘉英	印刷労連
	西口　英也	政労連
	吉田　真規	サービス連合
	伴野　義隆	ゴム連合
	宮川　雄丞	日放労
	上田隆之介	全労金
	飯田　孝一	JR総連
	水井　弘典	全水道
	大辻　聖章	全国ユニオン
	宮　達雄	林野労組
	辻　誠之	労済労連
	髙井　康次	連合奈良ﾕﾆｵﾝ
	杉岡　進	天理学園
	吉村　聖子	女性委員会
	真田　昌雄	青年委員
	小南　昌紀	北和地協
	坂梨　勝利	西和地協
	石川　俊博	中和地協
	西本　豊繁	南和地協
会計監査	澤　潤一	自治労
	中村　吉保	UIゼンセン同盟
	松岡　良浩	国公総連

■ 2012 年第 12 期

役職名	氏　名	出身産別
会　長	小山　淳二	電機連合
会長代理	松岡　隆	電力総連
副会長	古川　友則	自治労
	阪田　聖司	電機連合
	鎌戸　平治	UIゼンセン同盟
	佃　寿己	私鉄総連
	鍛治　佳宏	JP労組
	小南　昌紀	教育連合
	中西　勝	自動車総連
	倉　正則	情報労連
事務局長	竹平　均	教育連合
副事務局長	池本　昌弘	自治労
	桐木　正明	自治労
	小谷　久己	電機連合
	小嶋　伸二	UIゼンセン同盟
	舛田　勝	私鉄総連
	宮本　精二	JP労組
	柴田　俊和	教育連合
	山本　伸行	電力総連
	水野　仁	電力総連
	杉本　敏範	情報労連
執行委員	藤本　恵多	自治労
	山本　佳保	自治労
	宮本　幸代	自治労
	徳矢　光行	電機連合
	児玉幸太郎	電機連合
	杉森　知明	電機連合
	小林　康雄	UIゼンセン同盟
	阿部　路子	UIゼンセン同盟
	馬場　秀幸	私鉄総連
	吉田　明美	私鉄総連
	比嘉　二郎	JP労組
	手島　操	JP労組
	森山　欣哉	教育連合
	西口　敦子	教育連合
執行委員	西口　佳孝	自動車総総連
	高木　祥介	電力総連
	立平三千美	電力総連
	今西多香一	情報労連
	小林ひとみ	情報労連
	仲野　昌則	JAM
	田中　暢一	JR連合
	南本　洋二	フード連合
	内藤　利彦	運輸労連
	白瀧　修司	国税労組
	榊本　尋一	JEC連合
	中野　一雄	国公総連
	森田　昌孝	サービス連合
	北村　嘉英	印刷労連
	西込　哲也	政労連
	中野　敦	ゴム連合
	北谷　康治	日放労
	上田隆之介	全労金
	大辻　聖章	全国ユニオン
	飯田　孝一	JR総連
	樫原　健司	全水労
	川村　幸義	森林労連
	青木　正樹	労済労連
	髙井　康次	連合奈良ﾕﾆｵﾝ
	八杉　大輔	天理学園
	吉村　聖子	女性委員会
	真田　昌雄	青年委員
	木下　幸一	北和地協
	葛本　佳司	西和地協
	高谷　光一	中和地協
	前川　英司	南和地協
会計監査	澤　潤一	自治労
	杉山　潮	UIゼンセン同盟
	高村　宏規	国公総連

■ 2014 年第 13 期

役職名	氏　名	出身産別
会　　長	小山　淳二	電機連合
会長代理	松岡　　隆	電力総連
副 会 長	古川　友則	自治労
	阪田　聖司	電機連合
	大西　秀樹	私鉄総連
	鎌戸　平治	UAゼンセン
	鍛治　佳宏	JP労組
	髙榮　耕平	教育連合
	前川　英司	自動車総連
	山原　一志	情報労連
事務局長	竹平　　均	教育連合
副事務局長	藤本　恵多	自治労
	小谷　久己	電機連合
	舛田　　勝	私鉄総連
	松石　康志	私鉄総連
	富田　竜二	UAゼンセン
	咽原　直樹	JP労組
	倉田　嘉人	教育連合
	山本　伸行	電力総連
	水野　　仁	電力総連
	今西多香一	情報労連
執行委員	桐木　正明	自治労
	木村　和弘	自治労
	西田　一美	自治労
	徳矢　光行	電機連合
	稲津　和之	電機連合
	井上　典子	電機連合
	馬場　秀幸	私鉄総連
	吉田　明美	私鉄総連
	小林　康雄	UAゼンセン
	駒村佐知子	UAゼンセン
	田川　兆伸	JP労組
	手島　　操	JP労組
	菊田　英雅	教育連合
	西口　敦子	教育連合
	西口　佳孝	自動車総連
	高木　祥介	電力総連
	立平三千美	電力総連
	阿部　　裕	情報労連
	佐古　美希	情報労連
	松井　　敦	JAM
	田中　暢一	JR連合
	内藤　利彦	運輸労連
	南本　洋二	フード連合
	榊本　尋一	JEC連合
	森本　佳秀	国税労組
	植木　　隆	国公総連
	北村　嘉英	印刷労連
	岡本　成司	サービス連合
	中野　　敦	ゴム連合
	西込　哲也	政労連
	合田　貴仁	日放労
	北原　崇史	全労金
	飯田　孝一	JR総連
	高橋　広喜	全水道
	白木　投和	森林労連
	青木　正樹	労済労連
	杉本　敏範	連合奈良ユニオン
	中畑　高義	天理学園
	吉村　聖子	女性委員会
	田中　篤史	青年委員
	宮本　幸代	北和地協
	葛本　佳司	西和地協
	高谷　光一	中和地協
	中野　浩司	南和地協
会計監査	池田　寿和	電機連合
	隅田　純史	UAゼンセン
	中野　　昇	国公総連

■ 2016 年第 14 期

役職名	氏　名	出身産別
会　　長	小山　淳二	電機連合
会長代理	鎌戸　平治	UAゼンセン
副 会 長	木村　和弘	自治労
	阪田　聖司	電機連合
	大西　秀樹	私鉄総連
	髙榮　耕平	教育連合
	鍛治　佳宏	JP労組
	前川　英司	自動車総連
	山本　伸行	電力総連
	山原　一志	情報労連
事務局長	西田　一美	自治労
副事務局長	藤本　恵多	自治労
	小谷　久己	電機連合
	舛田　　勝	私鉄総連
	今西　　宏	私鉄総連
	木瀬　治和	UAゼンセン
	古根川保美	教育連合
	咽原　直樹	JP労組
	水野　　仁	電力総連
	渡邊　　茂	電力総連
	生駒たかし	情報労連
執行委員	池本　昌弘	自治労
	杉田　勝哉	自治労
	國岡よし子	自治労
	原田　哲季	電機連合
	渡辺　　葵	電機連合
	横山　勝久	私鉄総連
	吉田　明美	私鉄総連
	小林　康雄	UAゼンセン
	坂口　尚子	UAゼンセン
	菊田　英雅	教育連合
	川西光栄子	教育連合
	田川　兆伸	JP労組
	手島　　操	JP労組
	芝崎　博志	自動車総連
	石丸　一徳	電力総連
	中西　　妙	電力総連
	渡部　洋平	情報労連
	佐古　美希	情報労連
	松井　　敦	JAM
	田中　暢一	JR連合
	内藤　利彦	運輸労連
	南本　洋二	フード連合
	榊本　尋一	JEC連合
	乾　　直也	国税労組
	工藤　幸義	国公総連
	北村　嘉英	印刷労連
	新谷　充生	サービス連合
	中野　　淳	ゴム連合
	太田　　浩	政労連
	田所　伸悟	日放労
	北原　崇史	全労金
	飯田　孝一	JR総連
	廣田　敏安	全水道
	藤原　　誠	森林労連
	大嶋　俊央	労済労連
	杉本　敏範	連合奈良ユニオン
	乾　　誠二	天理学園
	田中　篤史	青年委員会
	吉村　聖子	女性委員会
	宮本　幸代	北和地協
	葛本　佳司	西和地協
	高谷　光一	中和地協
	上田　邦芳	南和地協
会計監査	池田　寿和	電機連合
	佐藤　直周	UAゼンセン
	高田　明彦	国公総連

歴代役員名簿

■ 2018 年第 15 期

役職名	氏　名	出身産別
会　長	西田　一美	自治労
会長代理	阪田　聖司	電機連合
副会長	宮本　幸代	自治労
	霜永　勝一	私鉄総連
	大島　幹敏	UAゼンセン
	前川　英司	自動車総連
	鍛治　佳宏	JP労組
	髙榮　耕平	教育連合
	山本　伸行	電力総連
	生駒たかし	情報労連
事務局長	山原　一志	情報労連
副事務局長	藤本　恵多	自治労
	布田　尚弘	私鉄総連
	渡邊　英一	私鉄総連
	木瀬　治和	UAゼンセン
	山本　勝	電機連合
	北尾　亮	自動車総連
	咽原　直樹	JP労組
	古根川保美	教育連合
	渡邊　茂	電力総連
	水野　仁	電力総連
	岸本　洋一	情報労連
副事務局長（女性枠）	坂口　尚子	UAゼンセン
	田中　千尋	JEC連合
執行委員	池本　昌弘	自治労
	杉田　勝哉	自治労
	國岡よし子	自治労
	杉浦　良知	私鉄総連
	吉田　明美	私鉄総連
	小林　康雄	UAゼンセン
	池田　紗華	UAゼンセン
	原田　哲季	電機連合
	神部　楓	電機連合
	山本　保	自動車総連
	水谷　圭子	JP労組
	手島　操	JP労組
	菊田　英雅	教育連合
	岡田　有理	教育連合
	石丸　一徳	電力総連
	中西　妙	電力総連
	吉川　昇	情報労連
	佐古　美希	情報労連
	松井　敦	JAM
	内藤　利彦	運輸労連
	田中　暢一	JR連合
	目崎　真人	フード連合
	榊本　尋一	JEC連合
	北村　嘉英	印刷労連
	乾　陽介	サービス連合
	中野　淳	ゴム連合
	岡村　信一	国公総連
	川本　誠	政労連
	池田江梨花	NHK労連
	北原　崇史	全労金
	北村　義孝	全水道
	飯田　孝一	JR総連
	白木　投和	森林労連
	前田　猛	労済総連
	石川　俊博	連合奈良ユニオン
	瀬口加壽美	天理学園
	松田　拓実	青年委員会
	吉村　聖子	女性委員会
	桐木　正明	北和地協
	田中　篤史	西和地協
	髙谷　光一	中和地協
	上田　邦芳	南和地協
会計監査	吉井　美雪	UAゼンセン
	稲津　和之	電機連合
	伊藤　司朗	国公総連

■ 2020 年第 16 期

役職名	氏　名	出身産別
会　長	西田　一美	自治労
会長代理	阪田　聖司	電機連合
副会長	池本　昌弘	自治労
	藤井　明彦	UAゼンセン
	霜永　勝一	私鉄総連
	大蔵　武臣	自動車総連
	本村　秀史	JP労組
	近藤　伸一	教育連合
	岡田　有理	教育連合
	水野　仁	電力総連
	生駒たかし	情報労連
事務局長	山原　一志	情報労連
副事務局長	杉田　勝哉	自治労
	伊垣　昭彦	UAゼンセン
	坂口　尚子	UAゼンセン
	渡邊　英一	私鉄総連
	松田　拓実	電機連合
	山本　勝	電機連合
	北尾　亮	自動車総連
	宮崎　隆勇	JP労組
	田窪　博樹	教育連合
	渡邊　茂	電力総連
	宮下　真二	電力総連
	中村　哲也	情報労連
	西野なつ美	JEC連合
執行委員	宮本　幸代	自治労
	増田　淳	自治労
	北浦　竜二	自治労
	小林　康雄	UAゼンセン
	長野　大輔	UAゼンセン
	池田　紗華	UAゼンセン
	大谷　彰	私鉄総連
	吉田　明美	私鉄総連
	原田　哲季	電機連合
	滝上　紗世	電機連合
	鳥尾　将人	自動車総連
	橋本佐也加	自動車総連
	水谷　圭子	JP労組
	森田あい子	JP労組
	菊田　英雅	教育連合
	大山　久代	教育連合
	石丸　一徳	電力総連
	西山　智恵	電力総連
	倉本　雅司	情報労連
	佐古　美希	情報労連
	東川　美紀	運輸労連
	松井　敦	JAM
	山本　大輔	JR連合
	藤川　佳司	フード連合
	榊本　尋一	JEC連合
	乾　陽介	サービス連合
	中野　淳	ゴム連合
	北村　嘉英	印刷労連
	岡村　信一	国公総連
	岡本　陽介	政労連
	石田　哲朗	メディア労連
	大森　健人	全労金
	三好　一馬	全水道
	飯田　孝一	JR総連
	三上　秀範	森林労連
	染谷　修平	労済労連
	小谷　久己	連合奈良ユニオン
	山本　晃司	天理学園
	竹之内　悠	青年委員会
	吉村　聖子	女性委員会
	桐木　正明	北和地協
	田中　篤史	西和地協
	高谷　光一	中和地協
	上田　邦芳	南和地協
会計監査	行廣　彩子	私鉄総連
	山口　良輔	自動車総連
	吉田　耕作	国公総連

編集後記

2018年5月、結成30周年記念プロジェクト実行委員会が立ち上がり、あっという間に2年が経過いたしました。私自身、2011年から3期6年、連合奈良専従副事務局長として連合運動に直接、関わったことから実行委員会委員長という大役を仰せつかったものと理解しております。この間、趣旨にご賛同いただき委員会に参加いただきました各産別単組の役員の皆さま、連合奈良各地域協議会の事務局長の皆さま、また西田一美連合奈良会長はじめ内局の皆さまに感謝を申し上げますとともに、委員長として至らなかった点につきまして心よりお詫び申し上げます。

この2年間は、連合結成30年の節目を通じ、これまでの活動を振り返り、次の時代へ何を訴え発信していくのか多くの議論がなされたと思っております。また連合奈良においては大きな挑戦を通じ多くのメッセージを社会に発信いしたました。

これまで連合は、節目ごとに、あるべき社会像と運動の羅針盤とするビジョンを提起してきました。2001年の「労働を中心とした福祉型社会」、それを継承・発展させた2010年の「働くことを軸とする安心社会」、そして今回、結成30周年を迎え2035年を展望したビジョン「働くことを軸とする安心社会　－まもる・つなぐ・創り出す－」を提起しました。このビジョン実現に向け、これからも連帯の力を強くし、誰一人取り残されることのない社会をつくる原働力に連合はなれるものと信じてやみません。

本記念誌をご覧いただき、これまでの10年を振り返るとともに、これからの連合奈良の運動に対して更なるご指導、ご鞭撻を賜れば幸いと存じます。

最後になりますが、本記念誌作成にあたり、新型コロナウイルス感染拡大による非常事態宣言が発出されるなど、その対応極まる中においてご協力いただきました全ての方々に心より御礼申し上げます。

結成30周年記念プロジェクト実行委員会
委員長　水野　仁

10th anniversary
21世紀への飛躍
連合奈良10周年記念誌
1999
日本労働組合総連合会奈良県連合会
連合奈良
二十周年誌
連合奈良20周年記念誌
2009
30th Anniversary
連合奈良
30周年記念誌
2019
日本労働組合総連合会奈良県連合会

連合奈良30周年記念誌　2019

日本労働組総連合会奈良県連合会